



トップレベルの練習法を学ぶ

～陸上競技講習会・指導者養成講習会～

6月29日(土)、市営陸上競技場で、登別市内で強化合宿を行っていたUFJ銀行女子陸上競技部の竹内伸也監督を講師に『陸上競技講習会』と『指導者養成講習会』が開かれました。

講習会には、市内の小・中学校の児童・生徒や指導者、一般ランナーなど40人が参加。初めに、竹内監督が「陸上競技の基本は正しいフォーム作りが大切。足首は柔らかく、腕は脇を締めてきれいに振ってください」などと話し、参加者は、入念な準備体操の後、腕振りや歩き方など、基本的な実技に真剣に取り組んでいました。



楽しく点訳に挑戦!

～点訳初心者講習会～

6月19日(水)、しんた21で点訳赤十字奉仕団主催の『点訳初心者講習会』が開かれました。

この講習会は、市民を対象に点字への理解を深め、ボランティア活動に役立ててもらおうと開かれたもので、11月末まで20回の開催を予定しています。

初日の参加者6人は、点訳赤十字奉仕団の講師から点訳者の心構えや視覚障害をもつ方の思いなどについて説明を受けた後、早速点訳を体験。点字を打つのは初めてという鷺別町の宮下真弓さんは、「テキストを見ながら点字を打つのは思っていたよりやさしく、楽しいですね」と笑顔で話してくれました。



『川』に触れ 自然の大切さを学ぶ

～第11回鬼っ子サミット～

7月6日(土)、市や登別青年会議所などが主催する『第11回鬼っ子サミット』がふおれすと鉱山で開かれ、登別市と白老町の小学生66人が参加しました。

今年の鬼っ子サミットは、テーマ『川で遊ぼう。川を遊ぼう。川を語ろう。』のとおり、幌別川上流での川遊びからスタート。川面をのぞき込んだり、石をよけたりしながら、子どもたちは夢中になって魚探しを楽しみました。

川遊びを満喫した後、子どもたちはふおれすと鉱山に移動。同センターの職員から、魚が棲み良い川的环境について説明を受けました。

川を通して自然の大切さを学んだ子どもたちは、最後に、魚道に行き来する魚たちに木陰をプレゼントしようと、平成13年に川上町に完成した魚道沿いにミズナラや栗などの苗木70本を植えました。



植樹する子どもたち

もっとリサイクルを

～リサイクルまつり'02イン登別・白老～



親子でつくったペットボトルロケット

7月14日(日)、クリンクルセンターで、登別市衛生団体連合会などの主催による『リサイクルまつり'02イン登別・白老』が開催されました。

この催しは、リサイクルに対する意識の高揚を図ることを目的として開催されたもので、会場では、家具などの再生展示品の抽選会、牛乳パックを使った再生紙作り、廃油を利用した石けんやローソク作り、ペットボトルロケットを親子で作るコーナー、たい肥の無料配布などが行われ、朝からの雨にもかかわらず、家族連れなど約2,100人の市民が会場を訪れ、リサイクルへの関心を高めました。